



京丹波町社協だより

ほほえみ

第13号

2010年4月19日発行

福祉講演会

「介護を考える」を開催しました。

京丹波町社協では、京丹波町からの委託を受けて「地域介護力アップ教室開設事業」（社協では地域介護力アップ事業）を実施しています。

各地のふれあい・いきいきサロン活動の推進、高齢者見守り隊事業の実施とともに、高齢者が安心・安全に暮らし続けることができるまちづくりを目指して取り組みを進めています。

もくじ

- 平成22年度事業計画・予算 …………… 2
- 地域介護力アップ事業
福祉講演会「介護を考える」…………… 4
“介護の達人は 人生の達人”
- 高齢者見守り隊情報No.5 …………… 6
- 善意のご寄付ありがとうございます… 8

※本誌は共同募金の配分金によって作られています。

お元気ですか？

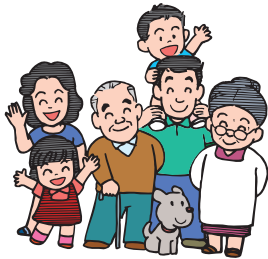
～広げよう！暮らしの安心・地域のつながり～

基本方針

本町においては、平成22年4月現在で高齢化率が33%に達する状況にあります。このような中、京丹波町社会福祉協議会では高齢者の介護事業、介護予防事業、障害者の自立支援事業さらには健康・生きがいづくり事業や母子・父子福祉事業を推進してまいります。また、幅広く住民参加をお願いし、行政、関係機関、諸団体、福祉施設との連携を密にするなかで福祉のまちづくりを目指し、地域福祉の向上を図ります。

法人運営

- 理事会、監事会の開催、評議員会の開催、各委員会の開催
- 役員研修、労務管理
- 社協組織・経営基盤の整備、強化



在宅福祉事業の推進

- 総合的福祉相談窓口
- 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）
- 介護保険事業（介護予防事業、介護保険事業におけるケアマネジメント、訪問介護、通所介護、訪問入浴介護）
- 軽度生活支援、外出支援、食の自立支援事業、食生活改善事業、訪問理美容、家族介護者交流事業、福祉用具・機器貸出、斡旋
- 障害者自立支援事業（居宅介護、重度訪問介護、共同作業所の運営）
- 重症心身障害者等通院・通所援助
- 障害者ガイドヘルパー派遣事業

職員人事異動

4月1日付で異動のあった職員

（ ）内は旧所属

事務局長兼瑞穂支所長 桐野正則（和知支所長）▽和知支所長兼共同作業所和知支所長 上田良一（事務局長兼瑞穂支所長）
 デイサービスセンター長 福井朗（共同作業所和知支所長）▽共同作業所丹波本所係長 梅垣ひとみ（共同作業所瑞穂支所長）▽共同作業所瑞穂支所長 山村英子（共同作業所丹波本所係長）▽丹波支所主任専門員 竹村一宏（瑞穂支所VC・訪問入浴主任）
 △共同作業所丹波本所主任指導員 友金幸夫（デイサービスセンターほほえみ主任生活相談員）▽本所主任VC・訪問入浴主任 山内昌代（丹波支所専門員）▽共同作業所丹波本所嘱託指導員 岡花さゆ美（デイサービスセンター嘱託介護員）

平成22年度 京丹波町社協 事業計画

地域福祉・ボランティア活動振興

地域に根ざす福祉ニーズを把握し、
その課題を地域住民全体で共有し
解決に努める福祉のまちづくり

町民の理解と参加のもとに
全ての人とともに生きる
愛とふれあいの地域社会づくり

- 調査・研究
- 啓発、広報活動
- 小地域福祉ネットワーク事業
 - ・ふれあい・いきいきサロン活動支援事業
 - ・高齢者見守り隊事業（京都府補助事業）
 - ・高齢者ふれあい調理実習
 - ・ふれあい型給食「かけはし弁当」事業
 - ・ボランティア研修事業
- 小地域福祉ボランティアによる高齢者支援事業
 - ・ひとり暮らし高齢者レクリエーション事業
 - ・出前介護予防教室
 - ・ミニデイサービス事業「にっこにっこクラブ」
 - ・地域介護力アップ教室開設事業
- 住民参加の地域福祉推進事業
 - ・ボランティア養成事業
 - ・障害者ふれあい事業
 - ・障害者ボランティア助成事業
 - ・福祉教育体験学習事業
- 当事者組織・団体支援事業
 - ・老人クラブ連合会支援
 - ・身体障害者福祉会支援
 - ・母子寡婦福祉会支援
 - ・ひとり暮らし高齢者世帯支援
 - ・介護者支援

厚生福祉事業の推進

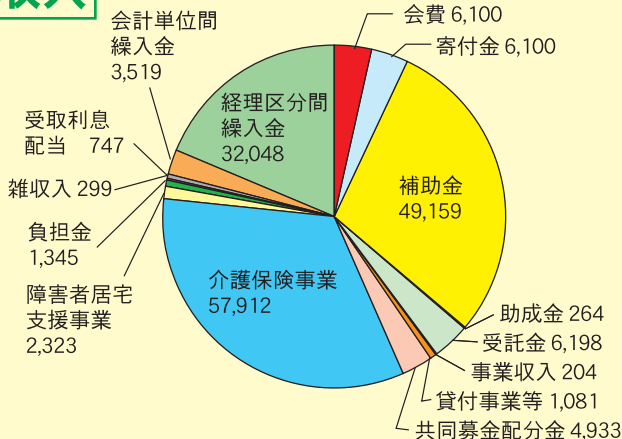
- ボランティアバンク運営委員会の設置・運営
- ボランティア活動支援（ボランティア登録・斡旋、援助および指導、ボランティア活動に関する調査研究・情報提供、活動資材の整備および貸与、善意金品の預託および配分など）
- 心配ごと相談事業
 - ・心配ごと相談所運営委員会の設置・運営
 - ・心配ごと相談所の開設
 - ・弁護士による無料法律相談
- 福祉資金貸付事業
 - ・貸付調査委員会の設置・運営
 - 共同募金配分事業
 - ・赤い羽根共同募金運動（毎年10月～12月に実施）
 - ・歳末たすけあい募金運動（毎年12月実施）

その他の事業

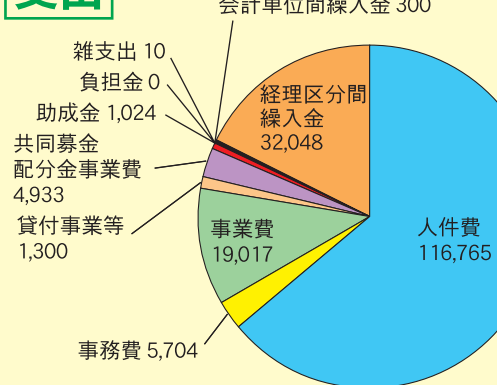
- 過疎地住民福祉事業
- 和知高齢者コミュニティセンター維持管理事業

京丹波町社協予算 一般会計

収入 合計 172,232千円



支出 合計 181,101千円



当期資金収支差額 - 19,780
 前期末支払資金残高 19,780
 当期末支払資金残高 0

介護講演会

さる3月4日、和知ふれあいセンターにおいて、講師にNHK教育テレビ「福祉ネットワーク」介護百人一首などで活躍されている「小谷あゆみさん」を迎え、地域介護力アップ事業「介護講演会」を開催しました。

小谷さんは、「介護の達人は、人の達人」と題し、ご自身が司会をされている「福祉ネットワーク」介護百人一首という番組の取材を通して出会われた人々の「思い・介護のしんどさ・家族のきずな」等を、その方々が詠まれた「短歌」を紹介しながらお話されました。

紹介された短歌を小谷さんと一緒に声をそろえて詠み、その短歌に託されたそれぞれの生き様を聞く中で、「そうそう、うんうん」とうなづく参加者の方・・・講演の様子を紹介します。

一 ◆そもそも「介護短歌」とは？

同志社女子大学の先生で歌人でもある安森敏隆先生が、奥さんのお母さんと同居され、そのお母さんの介護をされました。そのときに生まれたのが「介護短歌」です。先生もお母さんの介護を通じてたくさんの短歌を詠んだのですが、介護に専念されている奥さんの方がいっぱい、ものすごく短歌を詠んだそうです。その姿を見て先生は、

介護をしている方は、それだけのあふれる思いがあり、抱えているんだと感じられ「介護百人一首」となつたんです。それをNHKで取材し、そして今を迎えています。

二 ◆五・七・五・七・七に 思いを込める

例えば、私が母を介護していて、「お母さんは、何も言うことを聞いてくれない。もう、腹がたつ」という思いを五文字・七文字に当てはめていく「腹がたつ」「情けない」なのか、「お母さん・・・」なのか、介護の日常を言葉に表すこと、表現することが短歌の面白さなのです。

三 ◆短歌に現れる心の変化

- ① 「風呂どうぞ」
入るそぶりを して入らず
はじけて飛ばす
くそじじい

この気持ち分かれますよね。認知症の旦那さん、「昨日も今日も入らない。もう！」という奥さんの気持ち、目の前の本人にはなく、紙に、短歌に「くそじじい」とぶつけた（否定の思い）

② 手づかみで

鍋より食らう夫の背に
思わず怒鳴る 我未熟なり

これはどうでしょう。会場の人に聞いてみましょう。「なさけないなあ、でも怒鳴るだろうと思う（会場の声）」。そうですよね。だって今まで社会人としてしっかり生きてきた人が、手づかみでごはんを食べたら、でも「くそじじい」と言っていた人が「我未熟なり」怒鳴つてから反省に変わつてきました（怒り・あきらめ）。

③ 病む夫の

寝息聞きつつ 思わるる
君の心の 遠きふるさと

④ 空き缶や

ペットボトルを集めるを
喜ぶ夫に 添いて歩まん

この二つの歌、どうでしょう。ご主人の介護をしている奥さんの心の変化、「くそじじい」から「我未熟なり」、そして、「君の心の遠きふるさと」へ「喜ぶ夫に添いて歩まん」と。

介護をしている家族というのは、こんな風に、経験のない私が言うのと失礼ですが、人格、人間的成長を遂げていると思うのです。この四つの歌の中に、ご主人の介護を通じて、奥さんがだんだん大きくおあらかに、物の見方を広げているということを教わりました。

（中 略）

四 ◆介護する人、介護される人は

双方向！ 共に生きる

- ⑬ 夕暮れに
洗濯物はと眼で合図
あつ忘れてた
いつのまにやら



介護する人、される人「双方向」というお話です。ASLというだんだん筋肉が固まっていく難病のお母さんの介護をしている33歳の娘さんが詠んだ歌です。

お母さんは、難病が進行していて眼球を左右に動かすことによつてしか「コミュニケーション」ができない状態の人でした。そのお母さんを介護するために、OLをしていた娘さんは、仕事を辞めて、というこゝとでもあつて、「お母さんの介護大変じゃないですか？」と思わず聞きました。すると娘さんは「いやいや、私の方が母に世話を焼かれています。」と言いました。私は「ええ？」と思つたのですが、この歌から、その言葉の意味を理解したので。

お母さんが眼でピーって「洗濯物を取り込んでないよ」って、窓の方を眼で合図して、娘さんに教えたのです。

⑭ へえそうか

そんなにに入れるの 味噌砂糖
食べて懐かし 母の味付け

味噌砂糖を、そんなにに入れて作る料理は何でしょう。会場に聞いてみましょつ。何でしょうか?。「鯖の味噌煮(会場から)」、「ピンポンピ

ンポン。娘さん、鯖の味噌煮を作ろうとしたのです。でも味付けの分量が分からない。そこで「お母さん、味噌入れるけど、ストップつていつてね」と、スプーンで一杯・二杯・三杯、「まだ入れるの・・・」何杯目かでお母さんの目が「ピッ」と、「わア、こんなに味噌入れるんだ」。同じように砂糖もやつてできあがつたら、懐かしい母の味付け、ALSという難病で眼球しか動かないお母さん、娘に「お袋の味を、レシピ」を伝授することができたんです。これはびっくりしました。

また、取材中にお母さんの目がまた動きました。「お茶を出したか?」というサイン。寝たきりで、固まっている人、としか思つていなかつた私達は、このお母さんが娘にお世話をしてもらつていなければならないとお母さんの役割というか、共に生きる存在として頑張つていらっしゃるんだという思いを確認することができました。最後にこの娘さんが詠んだ歌を紹介します。

⑮ 母の手を

握れる今日のありがたさ
穏やかな日々 胸に焼きつく

「介護の達人は人生の達人」

小谷先生が紹介いただいた作品です。

(講演紹介で掲載できなかった分)

● 疲れていたらやさしくできない ↓ 相手は自分の鏡

⑤ 腹が立つ空に向かってパンチする すつきり笑顔でまた介護する

● 視線を変える。カメラマンになってみる。アップとワイド。

⑥ やさしいのうあんだの親の顔みたい私の親はあんだでしょうが

⑦ お茶はもう要らぬといふに繰りかへし持ちくる妻にまた礼をいふ

⑧ 子の名さえ 忘れし姑は 律儀なる 挨拶述べて 朝食をとる

● 思いを抱えるのは家族だけではない。介護専門職の歌

⑨ 「おかえり」と言われて始まる一日が 今日私に 元気をくれる

⑩ イケメンの看護師たちに手をひかれ歩けないはず? スタスタ歩く

⑪ 陰ながら 煙となりし 彼の人を 見送り今日も ペダルこぎ出す

⑫ 切り方も 知らぬ青年ヘルパーが かぼちゃの煮方 覚えくれたり

● 介護する夫、介護される妻、それぞれの思い

⑬ 病む妻の ひた待つ三階の鍵の鈴 手に鳴らしつつ 階段昇る

⑭ 半世紀 妻が立ちたる厨房か 病むその妻に 今宵 粥炊く

⑮ 「また来る」と言ひて病室出てゆく夫の背いたくまるくなりたり

小谷先生のお話を聞いて・・・

「介護百人一首」という番組で取材されたそれぞれの介護家族の姿を、短歌を通じて講演いただきました。よくある「介護者の気持ちには、介護した者だけしか分からない」という当事者の声、そうではないくて、そのしんどさや悲しみ、また、喜びを短歌にしてみらうことによつて、その気持ちや現状を理解する人たちを作つていく、拡げていく、このことを強く感じました。先生が「私は介護の経験もなく・・・」と言われたが、そのことは事実であつても、介護者に寄り添い、その思いをきちんと伝える。そして、その中から課題を見出し、「共に考える」という、そういうことの大切さを学んだ講演会であつたと思います。

志賀郷託老所「郷の家」って どんなところ？

高齢などで家庭に引きこもりがちな人達が一堂に集まって、楽しい交流の場を持ち、そのことが心身の健康増進、明日への活力の源となるような憩いの場「郷の家」にしたい



志賀郷託老所「郷の家」(外観)

平成9年に志賀郷振興の会が発案、地区自治会連合会の協力を得て平成10年4月から活動を開始。

運営は、すべて地域のボランティア26名で行っています。

会場は、民家の空家を借り受けて、毎週火曜日の午前9時から午後4時まで開いています。参加費は1回500円。

「郷の家」が一般の高齢者サロンと違うところは、小学校区の範囲で行われていることです。「郷の家」では、その日のプログラムは特に作らず、自由にしながらも参加者もボランティアも居心地よく、楽しく過ごせる場となっています。

「郷の家」に来たついでに診療所で診てもらったり、農協や郵便局に用事をしに行くなどの機会にもなっています。また、年1回全地域に呼びかけてクリスマス会を開いたり、自治会ごとに出前サロンを行ったり志賀小学校児童との交流もしています。



参加者が団欒する部屋にはコタツとソファがある。

ふれあいサロン紹介コーナー

モデル
サロン発

下山グリーンハイツ「なごみ会」

毎月第1・第3水曜日にグリーンハイツ清涼館で開催しています。

毎回始めに「なんたん元気体操」でからだをほくし、元気で明るい歌を台唱することが恒例です。特に「ほけない小唄」「四季の歌」「ああ人生に涙あり」などの歌はなごみ会のテーマソングになっています。

またペタンクゲームにも長年取り組んでいて、チーム対抗戦にするととても盛り上がるので好評をいただいています。

参加費は招き猫の貯金箱に心持ちで入れてもらっています！



高齢者見守り隊

情

報

社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会
〒622-0311 京丹波町和田田中6番地1
電話 0771-86-1440・FAX0771-88-0422

No.5

発行日 平成22年4月19日

平成21年度高齢者見守り隊事業

サロン活動
活性化について

視察・交流研修会 in 『郷の家』 (綾部市志賀郷町)

本町では、身近な地域での見守り、支えあい活動の拠点として、各地のふれあい・いきいきサロン活動を推進しています。

平成20年度からは、高齢者見守り隊事業（府補助事業）のモデルサロンとして7カ所のサロンを指定し、サロンが抱える課題や悩みを共有し、地域での拠り所となることを目指して、モデルサロン連絡会の開催、研修を重ねています。

その一環として、3月2日（火）綾部市志賀郷町で平成10年4月から活動が始まった高齢者サロン託老所『郷の家』を視察し、梅原代表から活動の様子や課題、工夫していること等報告していただきました。



「郷の家」を視察 参加者のお話をうかがいます。



牛乳パックを使った小物入れの作り方を教わりました。



視察後、志賀郷公民館に会場を移し意見交流しました。

サロンは地域の よりどころ

意見交流会では、サロンが永続的に続くために工夫していることやサロンに関わるボランティアなどについて意見交換しました。「参加者をお客様扱いしない。」「ボランティア自身が楽しみながら、仲間づくり」「自由に過ごせる場と時間が大事」「居心地がいいこと」などサロンへの思いを出し合いました。

善意のご寄付

ありがとうございました

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(平成二十一年十二月一日〜平成二十二年三月三十一日まで)

◆本所・瑞穂支所扱い

【一般寄付】

八田 忠男 様	福祉に
日赤有功会船井支会	福祉に
橋爪 山下秀製菓 山下 靖夫 様	福祉に
大朴 平田 強 様	車イス借用のお礼に
大朴 大朴寿会 様	福祉に
須知 金光教須知教会 様	福祉に
三ノ宮 三ノ宮ふれあいまつり実行委員会様	福祉に
橋爪 高松 一宏 様	亡父の供養に
大朴 友金 久美子 様	福祉に
栗野 澤田 勇 様	松葉杖借用のお礼に
猪鼻 細野 へみ子 様	福祉に
橋爪 中野 修 様	福祉に
戸津川 田中 良久 様	亡母供養に
栗野 上山 富美代 様	亡父供養に
橋爪 竹本 茂 様	亡母供養に
栗野 澤田 健一 様	亡妻供養に
質美 山内 久則 様	亡母供養に
戸津川 後藤 武 様	亡妻供養に
猪鼻 猪鼻フレンズ 様	亡母供養に
大朴 大朴寿会 様	愛ちゃん募金を福祉に
鎌谷 中南 智恵子 様	福祉に
上大久保 あすなろ会 様	福祉に
妙楽寺 田中 勝人 様	福祉に
中台 鈴木 智恵美 様	車イス・ベッド借用のお礼に
水原 高橋 幸雄 様	福祉に
橋爪 竹村 孝一 様	野菜多数
坂井 上田 勲 様	野菜多数

◆丹波支所扱い

【一般寄付】

妙楽寺	城崎 正継 様	野菜多数
下大久保	西田 幹雄 様	野菜多数
下山 藤田 昇 様	福祉に	
口八田 一谷 隆之 様	福祉に	
安井 村山 隆義 様	福祉に	
豊田 片岡 早苗 様	叔母が百歳のお祝いを頂いて	
南丹市八木町	榎親愛 安達耕一郎 様	福祉に
須知 丹波地域開発(株) 前村 以代子 様	福祉に	
橋爪 中野 修 様	福祉に	
豊田 竹下 ふき 様	亡父供養に	
高岡 小川 靖 様	亡母供養に	
須知 藤坂 登 様	亡母供養に	
高岡 竹野小学校芽生会 様	車イス募金	
下山 奥西 申一 様	福祉に	
須知 野口 茂雄 様	亡父供養に	
蒲生 京丹波町丹波婦人会 様	一日一円募金を福祉に	
下山 松永 昭治 様	亡妻供養に	
豊田 寺井 一子 様	ベッド借用のお礼に	
豊田 坂部 穰 様	亡母供養に	

◆和知支所扱い

【一般寄付】

和知十教区寺院一同	福祉事業に
中山 中西 和一 様	見舞い返しを廃して
大籾 片山 次男 様	亡父供養に
手芸ボランティアモチーフ 様	福祉に
本庄 西田 智恵 様	亡母供養に
大倉 出野サトエ 様	送迎のお礼として
京丹波町婦人会和知支部 様	愛のपोーチを福祉に
中山 藤田 春次 様	亡妻供養に
篠原 篠原区婦人会 様	愛のपोーチ
中山 樋口 美代子 様	亡父供養に
広野 樋口 志江 様	亡夫供養に
中山 仲井 さかろ 様	亡妻供養に
長瀬 山口 美佐子 様	福祉事業に

◆共同作業所扱い

【一般寄付】

細谷 正志子 様	亡母供養に
中本 婦志子 様	亡父供養に
本庄 章博 様	見舞い返しを廃して
篠原 俊夫 様	亡父供養に
上乙見 藤田 正夫 様	見舞い返しを廃して
升谷 藤田 修一 様	亡母供養に
本庄 杉本 洋一 様	亡母供養に
中山 畑中 千鶴 様	見舞い返しを廃して
長瀬 山口 公平 様	見舞い返しを廃して
篠原 大塚 道子 様	亡母供養に
長瀬 山口 和夫 様	亡父供養に
安栖里 安栖里婦人会 様	亡妻供養に
坂原 片山 清春 様	福祉事業に
今西 正志子 様	亡母供養に
豊本 婦志子 様	亡父供養に
小田 章博 様	見舞い返しを廃して
山本 俊夫 様	亡父供養に
藤田 藤田 正夫 様	見舞い返しを廃して
藤田 藤田 修一 様	亡母供養に
西本 畑中 千鶴 様	見舞い返しを廃して
山口 山口 公平 様	見舞い返しを廃して
前林 大塚 道子 様	亡母供養に
山塚 山口 和夫 様	亡父供養に
安栖里 安栖里婦人会 様	亡妻供養に
片山 清春 様	福祉事業に
北京都事務機	作業所活動に
西階婦人会	作業所活動に
山内 末子 様	クリスマスリース
門隆雄 様	みかん
金本商店	缶コーヒー

竹野小学校 “芽生会” より

今年も『車イス募金』を頂きました。平成13年～20年までに9台の車イスを購入することが出来ました。

